



PROGRAM NOTE

ハートの愛

福音歌手 ベドウ路得子

私がこの「イエス」という人に会ったのは、小学二年生、八歳の時だった。父はキリスト教の牧師。母は伝道師。生まれた時から、いや、母の胎内に生を受けた時から教会に出席し、お祈りをし、賛美歌を歌い、聖書の話聞いて育った私にとって、「イエス」という存在は、ごく自然のものであった。「アーメン、ソーメン、冷やソーメン！」幼い頃から何百回となくこの言葉を浴びせられたが、私はなんだかんだ言い返しながらも、結構平気だった。「マリヤさま！」なんて呼ばれると、悪い気はしなかった。「宗教」という日本語の言葉は、なぜか暗い影で覆われているイメージがあって好きではなかったが、「イエス」という人は大好きだった。なにしろ、私を命がけで愛してくれた唯一の人物なのだから——。我が家では、毎晩、家族だけでお祈りをし、聖書を読む時をもっていた。ある晩、母が一本のカセットテープを聞かせてくれた。韓国から来た安利淑女史の気韻に満ちた声には私は引き込まれていった。「戦時中、日本から迫害を受け、クリスチャンであることによって牢獄へ入れられた。



しかし、獄中でもイエスさまの愛を伝え続け、最後には勝利を得た」という、まさに迫力に満ちたその話に、私は圧倒された。その話がすんだ後、安女史は、一曲、歌を歌い始めた。明日はどんな日か 私は知らない／晴れか 嵐か 曇りになるか／私は 明日を心配しない／イエスが私を守られるから／明日は 私にはわからないけど／明日を守られる／イエスがおられる／今でも耳にはっきりと残っている。上手だったとか下手だったとか、そんなことは全く覚えていないが、「歌」というものを超えたなにかがそこにあった。それは「本物」だった。「魂からほとぼり出ているもの」だった。その歌を一心に聞いている時、私の心の中にイエスさまの十字架がうつしだされた。知らない間に私の目から涙がこぼれていた。「罪！」「罪！」と、幾度となく言われてきたけれど、八歳のその時はじめて、私の小さな心のとびらがそっと開いた。神さまを、また神さまの愛を無視して生きていること自体が罪であることを知った。この全宇宙から見れば、目にも入らないほどのちっぽけな存在であるのに、こんな私にむかって名指しで、「路得子、I LOVE YOU」と語ってくださる神さまがおられる。しかも、こんなちっぽけな私からの、「神さま、ありがとう。I LOVE YOU, too!」という返事を待っておられる神さま。私の愛は口先ばかりだけれど、この神さまの愛は命がけである。私は、まだ八歳だったけれど、その愛がハートの奥深くでわかった。本物の愛は／年齢も／性別も／人種も／すべてを超越して伝わる／そして、ハートでふれたものは、決して忘れない。その日以来、イエスさまは私にとって、かけがえのない存在となった。「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」（聖書・コリント人への手紙第二、5章17節）

この「ハートの愛」があるからこそ、今日も私は生きてゆける。いや、この愛によって、今日も生かされている。人は だれしも／愛がなければ 生きていけないほど／もろく そして／また／素敵な存在なのだから・・・福沢路得子著 「やさしさの喝采」より



東日本大震災被災地での慰問コンサート



赤道へようこそ(エクアドル)

プロフィール

ベドウ・ルツコアメリカ ミネソタ州ベサニーミッション大学(神学部)卒業。日本を拠点として、アジア、北米、南米、各国でコンサート活動を行う。聖地旅行ツアーコンダクターとしても活躍。2001年、大阪教育大付属池田小学校児童殺傷事件の遺族を慰めるために制作されたCDに、三浦光世氏と一緒に参加。2003年、ワールドカップ日韓共同開催記念コンサートでは、日本代表として出演。「ジャパン・カルバリー・クルセード」主幹の巡回伝道者・福沢満雄 師の次女。

アメリカ人宣教師の夫、マークは日本に来て20年。賛美、証、メッセージとともに活躍。娘三人。

「イエスのまなざし」(CD) (ライフ企画)
「イエスの涙」(CD) (ライフ企画)
「天からのこもれび」(CD) (BMI)
「もし明日が」(CD) (BMI)
著書「やさしさの喝采」(いのちのことば社)
証集「信仰のバトンタッチ」(いのちのことば社)

<http://www.rutsuko.infoCD>

サタデー・トーク

きき手 尾崎一夫

毎週土曜日放送

4月06日	<赤道で会いましょう>	福音歌手 ベドウ路得子
4月13日	<赤道の国でコンサート>	福音歌手 ベドウ路得子
4月20日	難病の愛ちゃんと共に(1)	小口雄弘・ちひろ夫妻
4月27日	難病の愛ちゃんと共に(2)	小口雄弘・ちひろ夫妻

バイブル・トーク

東京淀橋教会 峯野龍弘主管牧師

毎週日曜日放送

4月07日	聖書遊覧バス(39)
4月14日	魂の叫び：詩篇シリーズ
4月21日	お便り交換の時間
4月28日	魂の叫び：詩篇特選シリーズ

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.hcjb.org>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただきます。(mp3形式)

放送時間：日本時間 午前7時半～8時 15525kHz (再放送) 午後7時55分～8時25分 15400kHz
(米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信)